

青年会議だより

ADCA 青年会議勉強会

ADCA 青年会議では、貧困やエネルギー・環境問題など「農業・農村開発」に係わる課題を取り上げ、開発事例、新技術等の紹介や開発援助の動向について知識を積み上げるため、以下2回の勉強会を開催致しました。

【第1回 勉強会】

日時：平成22年9月10日（金）16:00～17:30

会場：農業土木会館 2階会議室

講師：JICA 研究所 武藤めぐみ研究員

演題：「農業のための農業から、貧困削減のための農業へ」

ご講演においては、農業農村開発の目標は「農業」でなく「貧困削減」であることが強調され、案形成時やプロジェクト評価時においては、アウトカム、インパクトとして食料自給率の拡大のみならず、農業所得、農外所得、教育投資、栄養水準をも視野に入れ総合的評価を行うことが重要とされた。ウガンダ国における携帯電話普及と農産物販売との相関や、インドネシア国における灌漑等インフラ整備と農家所得との相関などインフラと貧困削減に関する興味深い研究調査分析が紹介された。また、事業の効果を把握するためには受益者（With）のみならず非受益者（Without）に関するデータも必要であるとし「二重比較法」の活用についても有効であることが言及された（右図）。

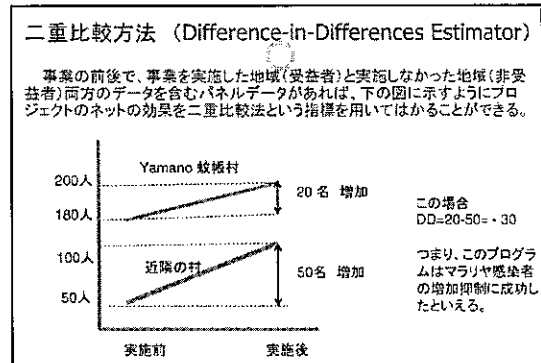


図 二重比較法

その後、参加者より質問や活発な意見交換が行なわれ、大変有意義な勉強会となりました。ご講演頂いた武藤めぐみ氏及び参加者の皆様誠に有難うございました。

【第2回 勉強会】

日時：平成22年12月10日（金）14:00～15:30

会場：農業土木会館 2階会議室

講師：アフリカ日本協議会（NPO 法人）高瀬国雄理事

演題：『「アジア緑の革命」から「アフリカ虹色の革新」への中長期的行動計画』

ご講演においては、まず、高瀬講師ご自身のご経験である「緑の革命」に述べられた後、アフリカにおける同様の革命をいかにして達成するかについての見解が述べられた。ここ、10年間でサブサハラ・アフリカにおけるコメの生産量を倍増する目標を掲げているが、これは、世界の食料価格が高騰傾向にあったためであり、まず米の栽培量を増加させ、その後に野菜等の栽培量を増加させる計画である。従って、今後においては、野菜の栽培量を増加させる具体的な目標を立てる事についての提案が必要であることを強調された。

また、これを達成するには、これからはグローバルな援助をする人材を育成するフォーラムが必要であり、このための予算を確保する必要があるとした。

その後、参加者より「先進国からアフリカへの援助方法における意識改革とは、どのような意識改革があったのか？」「人材育成に関して、時間がかかるなど、様々な制約がある。そのような環境の中で、どのように人材育成を行えばよいか？」などの質問が挙げられ、活発な意見交換が行なわれた。

ご講演頂いた高瀬国雄理事及び参加者の皆様誠に有難うございました。今年度2回目の勉強会も大変有意義な会となりました。



高瀬講師によるご講演の様子